

県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院緩和ケアチーム 2020年4月号 vol.107

*質問、ご意見などございましたら、kanwa@tajimi-hospital までメールでご連絡ください。

<新年度にあたって>

緩和ケアチームの活動体制は、5月より変わります。より医療者や患者家族に寄り添ったチームになることを目指して、「情報の共有」と「多職種協働」を年間のテーマとして、チームメンバーそれぞれの役割を果たしていけるよう努力してまいりたいと思います。

院内での緩和ケアへの連絡体制も一新し、連絡先を周知いたしました。まずはお気軽に「緩和に相談したい」と主治医や身近な看護師などにご相談ください。

<新型コロナウイルス感染症に地域全体で向き合しましょう！>

当院緩和ケアチームの活動は、つらい症状を和らげることに加えて、患者さんの療養場所を調整するため、地域内の在宅医療機関や他病院・施設との連携も重要な活動としております。

今般の新型コロナウイルス感染症は、当地域でも感染者が散発しており、もし地域内の医療・介護施設で職員や患者家族への感染が発生すれば、当院だけでは支えきれずに医療崩壊が始まってしまうかもしれません。

この感染症には、地域の医療・介護施設全体で取り組まないと立ち向かえないと考えます。医療物品の欠乏による感染を少しでも防ぐため、病棟ボランティア有志の方と協力し、感染予防のための医療物品の代替品を作成・調達しようとしております。

●地域の医療・介護機関の皆さんへ

足りない医療物品はありませんか？ もしあればご連絡ください。病院からの組織的な支援を依頼してみますが、それ以外にも自分たちで用意できるものをお送りいたします。

●地域にお住みの皆さんへ

休学・休業や様々な活動の自粛など、日常と違う状況が続いていて大変な時期ですが、もし何かをしたいとお考えで、ご協力いただけるようでしたら、手作りマスクや、クリアファイルで作るフェイスシールドなどの作成をお手伝いできないでしょうか？

また、陶器関係や工場勤務などで、以下の物品を、未使用の在庫としてご自宅にお持ちではないでしょうか？
当院でも医療物品が欠乏しかけており、もしご寄付いただけるのでしたら、大変助かります。

<寄付をお願いしたいもの>

- ① フェイスシールド（顔をおおう透明なカバー、工事や粉じんが出る仕事に使用するものなどでも可）
- ② N95 マスク（ウイルスの侵入も防ぐような気密性のあるマスク 有毒ガス・粉じんの防御用などでも可）
- ③ アイソレーションガウン（頭から足までの全体を覆うガウン）
- ④ 袖ありエプロン（使い捨てのもの）

もし相談してみたいと思われたら、できれば上記連絡先へメールにてご連絡下さい。

新型コロナウイルス感染症は、決して恐ろしい病気ではないですが、侮れないのも事実です。

正しく知って、正しく恐れることが重要と感じます。

簡単に、正しく理解するために、諏訪中央病院の玉井進裕先生が作成された

「新型コロナウイルスの感染をのりこえるための説明書」（全国版・地方版）は、かわいいイラストがついていて、我々地方に住む人がどう行動すべきかを分かりやすくまとめた説明書です。

茅野市のホームページでも動画なども含めて公開しています。

ぜひご覧ください。皆さんと一緒にこの試練を乗り越えていきましょう。

（文責：伊藤 浩明）

